

コセンダングサ (小梅檀草)

名前の意味：小さなセンダングサの意味。葉が樹木の種類、梅檀センダンに似ている草なので、センダングサと名付けられた。

分類：双子葉類、キク科、センダングサ属

(キク科の栽培植物さいばいしょくぶつ：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい湿しめった道ばた、水田の縁

分布：本州、四国、九州

原産地：熱帯アメリカ

特徴：5枚に分かれたぎざぎざの葉、花弁かべんが目立たない黄色い花、3本の刺とげのある細い実。

種子の運ばれかた：獣けものにくっつく

花弁の数：5枚、合弁ごうべん (花びらがつながったまま落ちる)、小さくてよくわからない

花の時期：8—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：アメリカセンダングサは、実が平たくて、刺とげが2本。タウコギは、水田に生え、花が大きい。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)